

【アゼルバイジャン経済トピック 99 号】

在アゼルバイジャン日本大使館

2022 年 7 月 29 日

「カスピ海ルート」上バクー港の貨物需要

最近になり、各種情勢により注目を集めているカスピ海横断国際輸送路ですが、アゼルバイジャンにおいては、バクー港が海上輸送と陸上輸送の切替え港となっています。なお、同港は 2018 年に操業を開始した比較的新しい港です。

同港の発表によれば 2018 年の操業開始以降、取扱貨物量は一貫して増加しており、2018 年の 22,887TEU から 2021 年の 45,025TEU へと、操業開始年度と比較し、およそ 2 倍の規模となりました。

2022 年上半期においても、取扱貨物量は 27,844TEU を記録し、前年同期比 +31.8% です。なお、取扱貨物の 85% がトランジット貨物（アゼルバイジャン輸出入以外）で、その大半が東西方向（中央アジア・中国～トルコ・欧州）での輸送貨物となっています。

（以上）